

授業科目 比較社会研究特論Ⅱ	単位 2 単位
授業担当者 岸上伸啓	授業期間 前期・金・2 時限
授業の題目と概要 「社会・文化に関する人類学的アプローチ」 この授業では、構造主義、認識人類学、解釈人類学、エスニシティー論、環境人類学、ジェンダー論、開発論、実践論など人類学的な研究方法や視点について紹介し、検討する。	
授業の内容と計画  授業では、『文化人類学 20 の理論』（綾部恒雄編、2006 年）をテキストとして、下記の研究のアプローチや視点について検討を加える。 (1)文化人類学的な視点とアプローチについて、(2)文化の概念と文化相対主義、多文化主義、(3)構造主義、(4)唯物論的アプローチ、(5)認識人類学、(6)象徴人類学、(7)解釈人類学、(8)エスニシティー論、(9)環境人類学、(10)医療・身体論、(11)ジェンダー論、(12)開発論、(13)ポストコロニアル論と民族誌論、(14)実践論、(15)総括	
使用する参考書、参考論文等 綾部恒雄編 2006 年 『文化人類学 20 の理論』 弘文堂	
成績評価基準 出席、口頭報告と議論への参加、レポートをもとに成績をつける。比重は、それぞれ 3 分の 1 ずつとする。	
その他の留意事項 授業は、講義と受講生の口頭発表、受講生を交えた討論からなる。	